記者発表資料

平成２６年７月１日
津軽ダム工事事務所

「津軽白神湖　湿地ビオトープワークショップ」を開催
～湿地ビオトープに移植した植物の観察とビオトープの目標設定～

津軽ダム工事事務所では、環境保全の取り組みとして湿地ビオトープを整備することとしております。

どのような湿地を整備していくのか、また、利活用や維持管理についてのプランづくりを行い、湿地環境を育てていく活動を目的に「津軽白神湖　湿地ビオトープワークショップ」を平成 25 年 3 月 1 日に設立しました。

第 6 回目となる今回のワークショップでは、平成 25 年度の活動をふりかえり、昨年の秋に試行的に湿地へ移植した植物の様子を観察し、さらに湿地ビオトープの整備目標と将来像について考える予定です。

【開催概要】

■名　　称：第 6 回　津軽白神湖　湿地ビオトープワークショップ
■開催日時：平成 26 年 7 月 8 日（火）13：30～16：30
■場　　所：津軽ダム工事事務所　会議室及び湿地ビオトープエリア
■内　　容：①平成 25 年度のワークショップ活動のふりかえり
②湿地ビオトープに移植した植物の観察
③湿地ビオトープの整備目標設定

【参考】

■ワークショップの参加者（平成 26 年 2 月 1 日現在）
西目屋村商工会、岩木山自然学校職員及び研修生、安藤ハザマ・西松共同企業体、白神山地財団、弘前大学　学生、個人

■第 5 回湿地ビオトープワークショップ（平成 26 年 2 月 7 日開催）概要
①湿地ビオトープでの今後の活動

〈発表記者会：弘前市記者会、専門記者会〉

【問合せ先】
国土交通省　東北地方整備局　津軽ダム工事事務所
電話　0172－85－3031　FAX　0172－85－3008
えんどう　としひこ
調査設計課長　遠　藤　　俊　彦　（内線 351）
きむら　　きよたか
専　門　職　木　村　　清　隆　（内線 350）

これまでの津軽白神湖　湿地ビオトープワークショップのようす

◆試行的につくった湿地の改良のアイデアを出し合い、利用しやすい湿地に改良しました。

Before



改良前の試行湿地（H２５年６月）

After



改良後の試行湿地（H２５年９月）

◆湿地に移植する植物を津軽白神湖の周辺からえらんで移植をしました。



移植候補植物の調査のようす
第３回ワークショップ



移植活動のようす
第４回ワークショップ



津軽ダムでのその他の保全の取り組みの見学もしました
ミチノクナシ保全の解説のようす



今後の活動のイメージについて話合いました
第５回ワークショップのようす



今回のワークショップでは移植した植物の生育状況を参考に、湿地ビオトープの整備目標について考えて行きます！